11/28 Fri

研　究　者　**臼井拓哉**（四賀小・松本市）
共同研究者　**藤田育郎**
（信州大学 教育学部 准教授）

子どもたちが『夢中で』運動に親しむことができる環境づくり

～「楽しい！」「またやりたい！」と思える運動遊びとの出合い～

７月に開催した「四賀小スポーツフェスティバル」では、中庭にタイヤや平均台などを置いてアスレチック風の「バランス島」を作ったところ、フェスティバルの時間以外にも多くの子どもたちが遊ぶ姿が見られました。他にも「くものすくぐり」「アタックジャンプ」などの運動遊びや、「めんこ」「ぶんぶんごま」といった伝承遊びなど全15種類の運動遊びを整備し、運動が苦手な児童でも自分に合った遊びを選び、楽しめるよう工夫しました。

事前アンケートで「運動が好きではない」と答えていた児童も、事後アンケートでは全員が「楽しかった」と回答しており、「うんどうがきらいだったけれど、スポフェスはたのしかった。またやってほしい！」などの声が寄せられ、環境づくりによって運動遊びとの出合いが生まれたことがうかがえました。

この成果を体育の授業にも活かし、子どもたちが『夢中で』運動に取り組むことができ、「楽しい！」「またやりたい！」と思えるような体育授業の構想を練っています。

第２回四賀小スポーツフェスティバルは11月28日（金）に開催予定です。公開当日は、バージョンアップしたスポフェスを『夢中で』楽しむ子どもたちの姿と、環境づくりの視点を大切にした６年生の体育「体つくり運動」の授業を参観いただきます。

ぜひ、子どもたちと一緒に運動遊びを体験してみませんか？体験してみての先生方の率直なご意見をいただきたいと思います。

共同研究者 藤田先生から

本来、運動とは「楽しい」もの。しかしいつの頃からか、それが「苦痛」の対象となってしまった子どもたちに出会うことも少なくありません。水溜まりの中で跳びはね、滑り台を駆け登っていた幼少期の頃のように、自然と体を動かしたくなる「環境づくり」をテーマに研究を深めてきました。当日は、子どもたちの「夢中」を生み出すたくさんの「仕掛け」に期待しています。

～日 程～

①	受　付	12：40～13：10
②	全校運動 スポーツフェスティバル公開	13：15～13：30
③	授業公開	13：40～14：25
④	運動遊び体験	14：25～14：55
⑤	開会行事	14：55～15：05
⑥	研究会	15：05～15：45
⑦	講演会	15：55～16：40
⑧	閉会行事	16：40～16：45

本文（ブックレット vol.144）.indd　24　2025/09/30　13:33:51